

本校の起業家教育について (平成 27 年度版)

1 実践授業について

- (1) 科目名 : 3 学年必修科目「地域ビジネスプランニング」(2 単位・学校設定科目)
- (2) 実践期間 : 2 学期 (8 月～1 月)
- (3) 指導形態 : 担当教員 5 名によるティームティーチング

2 起業家教育について

起業家教育は、模擬会社の運営や商品開発、販売体験などの経済活動を題材とした課題解決学習を通して、生徒が自ら課題を見つけ解決していく過程の中で、起業家精神や起業家的資質・能力を育成する教育である。起業家精神とは、未来を切り開くチャレンジ精神であり、創造性や探究心、そして自信をとまなうものである。起業家的資質・能力とは、課題を解決するため、情報を収集し分析する力、協同して取り組むチームワーク力、さらに、リーダーシップ、プレゼンテーション力、コミュニケーション力等を指している。

これらの力は、企業を立ち上げる起業家だけに必要な力ではなく、社会の中でよりよく生きていくために、だれにでも必要な力であり、特にこれからの社会を担っていく子供たちが身に付けるべき基本的な力であると言える。

3 使用教材について

(1) プログラム (教材) 名

「鹿島台商業高等学校アントレプレナーシッププログラム」

(KASHIMADAI commercial high school Entrepreneurship Program 通称: KEP)

(2) 独自教材の作成にあたって

本教材は、本校独自に作成しており、グループ学習を主体とし課題解決学習を行うものである。その際、グループ活動の活性化と、生徒の思考力や創造力の向上をねらいとして、企業において意思決定の場や企画会議などで活用されている「フレームワーク」を取り入れている。

実際に活用したフレームワークは次のとおりである。

アイスブレイク	チームワークを高めるゲーム
ロジックツリー	思考過程を樹形図で表現し、幅広く深く考える思考法
ブレインストーミング	多くのアイデアを生み出す集団発想法
ワールドカフェ	メンバーの入れ替えを複数回行う話し合いの方法
KJ法	多くの情報を整理・収束・結合させる方法
衆目評価法	投票形式による意思決定法
6W3H	アイデアを具体的にする項目

(3) 地域との連携・大学との連携について

今年度より、大崎地区の6つの企業団体様に協力していただけることになった。9月と11月にアドバイザーとして授業に参加していただき、生徒の意見に対して専門的な立場からアドバイスをいただいた。生徒にとっても緊張感のある授業が行えた。次年度以降も、こうした連携を図りながら授業を実践していきたい。

また、大学生が授業に参加し、生徒とディスカッションする宮城大学事業構想学部宮原ゼミとの連携については、数年前より継続して行っているが、次年度以降は未定となっている。

(4) 協力していただいた企業団体「アドバイザー」

連携先名	代表者役職	代表者氏名
玉造商工会	理事	真山 隆宏 様
大崎市役所鹿島台総合支所	地域振興課 商工観光担当技術主査	志賀 康英 様
大崎商工会鹿島台支所	主任主査・経営指導員	跡部 香名 様
株式会社 一ノ蔵	マーケティング室長	山田 好恵 様
デリシャスファーム 株式会社	専務取締役	今野 栄子 様
有限会社 ダイアファーム	代表取締役	小堤 孝志 様

4 指導計画 (15 単元 32 時間構想)

STEP (単元)	タイトル(単元名)	時数	主な学習内容
1	起業家教育をスタートしよう	1	<ul style="list-style-type: none"> ・起業家教育のねらいと学習内容を理解する。 ・ミッションを受け取る。
2	チームをつくろう	1	<ul style="list-style-type: none"> ・チームを編成し、役割分担を決める。 ・アイスブレイクを行い、チームのコミュニケーションを深める。
3	アドバイザーを決めよう	1	<ul style="list-style-type: none"> ・協力していただける6つの企業団体のなかから、共に取り組みたい企業団体を決める。
4	ミッションの背景を深く探ろう	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ロジックツリーの考え方を理解する。 ・地域が抱えている問題の原因を、ロジックツリーを活用して推測する。
5	アドバイザーミーティングの準備をしよう	1	<ul style="list-style-type: none"> ・地域が抱えている問題について、チームで考えたことをまとめる。
6	アドバイザーミーティング	1	<ul style="list-style-type: none"> ・アドバイザーの企業団体について知る。 ・地域が抱えている問題について、チームで考えたことを報告する。
7	アドバイザーミーティングをまとめよう	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ミッションクリアの状態(理想の地域)を実現させる方法を、ロジックツリーを活用して、深く考える。 ・アイデアのコンセプトを固める。
8	企画会議を開こう	5	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の資源について調べ、分析する。 ・ブレインストーミングを活用して、アイデアを考案する。 ・考案したアイデアを、企画書にまとめる。
9	中間報告をしよう①	2	<ul style="list-style-type: none"> ・チューター(大学生)に対して、アイデアを発表する。 ・チューターとのディスカッションを行う。
10	アイデアを改善しよう	4	<ul style="list-style-type: none"> ・チューターからのアドバイスを整理する。 ・ブレインストーミングとワールドカフェを活用して、改善したアイデアを考案する。 ・KJ法を活用して、複数のアイデアをグルーピングする。 ・アイデアを投票形式で絞り込む。 ・6W3Hシートを作成して、アイデアを具体化する。 ・考案したアイデアを、企画書にまとめる。
11	中間報告をしよう②	2	<ul style="list-style-type: none"> ・アドバイザーに対して、アイデアを発表する。 ・アドバイザーからいただいたアドバイスをもとに、改善点を整理する。
12	アイデアを完成させよう	2	<ul style="list-style-type: none"> ・6W3Hシートを作成して、アイデアを完成させる。
13	プレゼンテーションの資料を作成しよう	6	<ul style="list-style-type: none"> ・発表原稿とスライド資料を作成する。 ・リハーサルを行い、改善する。
14	プレゼンテーションを行おう	1	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の成果をプレゼンテーションする。
15	すべての活動を振り返ろう	1	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの活動を自己評価する。